

編集後記

- 38年度が始まりました。4月に入ると陽気が続き、花とともにはや厳冬を忘れそうですが、畜産物価格の安定、流通合理化問題、地方農政局の設置待ち、地方選挙等々で落付かない昨今です。北部農家も豪雪の被害から立直るのに色々と御苦労の多いことと存じます。
- 今月号には牧草の生産と施肥についての小原博士の対談を、草地改良が今年度も畜産重点施策ということでトップに上げました。県の畜産関係の予算は、骨格予算ということで、ごく大ざっぱの紹介に止めました。
- 枝肉取引からみた肉畜共進会は時期が大分遅れてしまいました。共進会成績からみたおもしろい考察であると思います。惣津前酪農大学校長の御退職を惜んで特に同校花尾総務課長から一文が寄せられましたが、惣津氏に育てていただいた本誌の編集担当者としての感謝と惜別の意の一端をも併せてこれに託し、お礼申し上げます。